

情報番号：08012202

テーマ：朝のさわやかな気分のままで仕事に取り組む

編著者：スピーチ・コンサルタント 村岡正雄

皆さん、おはようございます。

朝にふさわしい、さわやかな話をしましょう。

能登半島の奥能登の海辺の町に旅した時のことです。海辺の宿の、朝早くさわやかな空気の流れ込む部屋で目が覚めたので、そのまま起きて、宿のすぐ前の浜辺に出ました。朝の6時前です。まだ薄暗い浜をぶらぶらしていると、近所の漁師の奥さんでしょう、前の日の仕事の後片付けをすませたのか、浜の掃除が終わったのでしょうか、ゴミを入れたドラム缶で焚き火をしていました。気がつくと、あたりが少し明るくなって、いよいよ太陽が顔を出す寸前です。水平線の彼方が桃色になったかと思うと、突然、ニュッと太陽が顔を出しはじめます。そして、ぐんぐんと丸い真っ赤な太陽になったかと思うと、今度は光の中をユラユラと揺れながら昇っていきました。アツという間のことです。素晴らしい光景に気持ちを奪われて立ちすくんでいました。

気が付くと、それまで焚き火をしていた奥さんが、海の方に数歩進んで、その日の出を拝んでいるのです。お日様に手を合わせ、何度も深々と頭を下げています。私も同じようにお日様に向かって手を合わせ、頭を下げていました。厳粛で荘厳な雰囲気にも包まれる感動の一瞬でした。

さわやかな朝の空気をいっぱい吸い込み、敬虔な気持ちになっていただいたその日の宿の朝ご飯のおいしかったこと。

私は朝が大好きです。旅先ではできるだけ早起きをして、日の出を拝むことにしています。自分のなかから「いま、ここから、新しい何かが始まるのだ」と感じます。自分のなかに眠っていた力に気がついて、その力に引っ張られるようにしてアグレッシブになった自分を見出だすのです。

さわやかに目覚めて、そのフレッシュな気分のまま、一日のスタートを切ろうではありませんか。何かいいことがありそうな予感のとともに「さあ、きょうもやるぞ」と仕事に取り組みたいものです。

では、そんな気分を呼び込むために、もう一度お互いに、元気に朝のあいさつを交わしましょう。一日を元気で乗り越えることができるような、フレッシュな気分で、一緒に「おはようございます」「おはよう」。さあ、この調子で朝の仕事に取りかかりましょう。